

ふくしま創生総合戦略等策定支援業務調査報告書

地元就職率の動向や進路希望状況調査(大学、専門学校等)

令和元年9月

福島県

目次

1	アンケート調査の概要.....	1
2	アンケート調査結果.....	2
3	まとめ.....	31

1 アンケート調査の概要

◆ 調査の目的

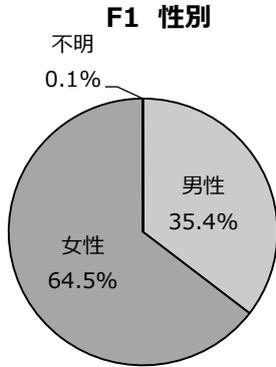
本県の未来を担う若者の県内定着、将来的な回帰を促す施策の構築に向け、県内及び首都圏等の学生を対象として進路希望などに対する意識調査を行う。

◆ 調査の概要

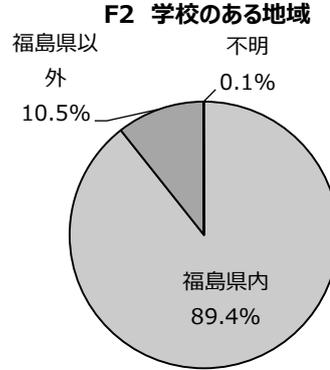
調査対象	県内の大学・専門学校等に通う学生 首都圏の大学に通う県内出身者
抽出方法	【県内】 県内大学（15校）および専門学校（32校）に調査協力依頼のチラシを配布し、各校にて学生に配布 【首都圏】 就職協定を締結している大学及び福島県出身者がいる大学（36校）に調査協力のチラシを配布・掲示し、各校にて県内出身者に配布。ほか、ふるさと福島就職情報センター登録学生に対するメールマガジンにて配信
配布数	4,600件（県内大学等 2,600件・首都圏大学 2,000件）
回収数	1,350件（回収率 29.3%）
調査方法	WEBフォームで回収
調査期間	令和元年7月中旬～8月下旬

2 アンケート調査結果

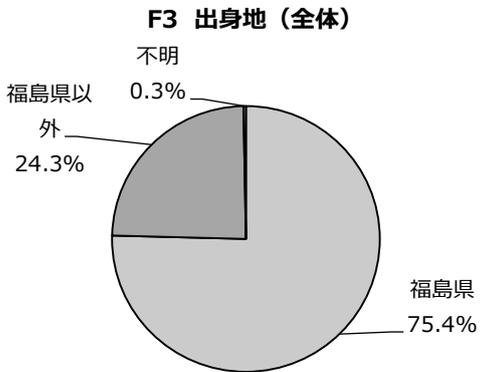
◆フェース事項



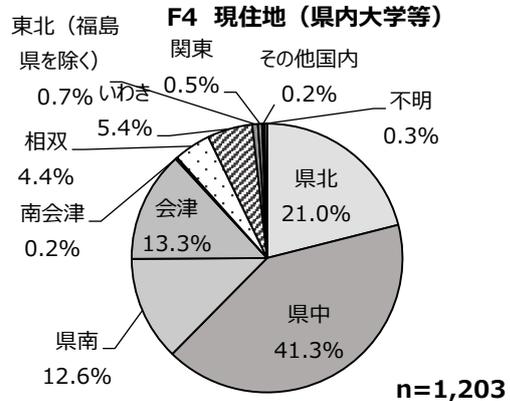
n=1,346



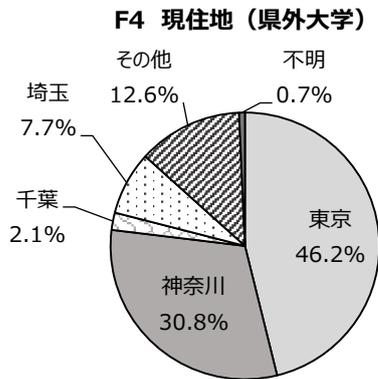
n=1,346



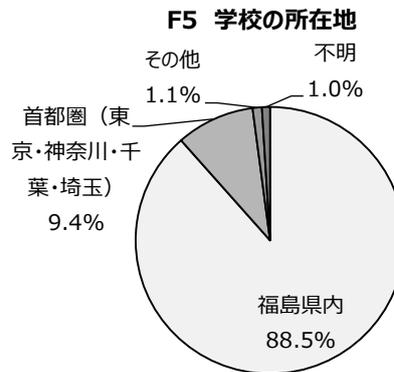
n=1,346



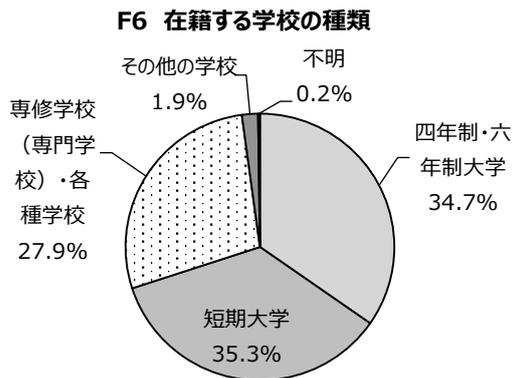
n=1,203



n=143



n=1,346

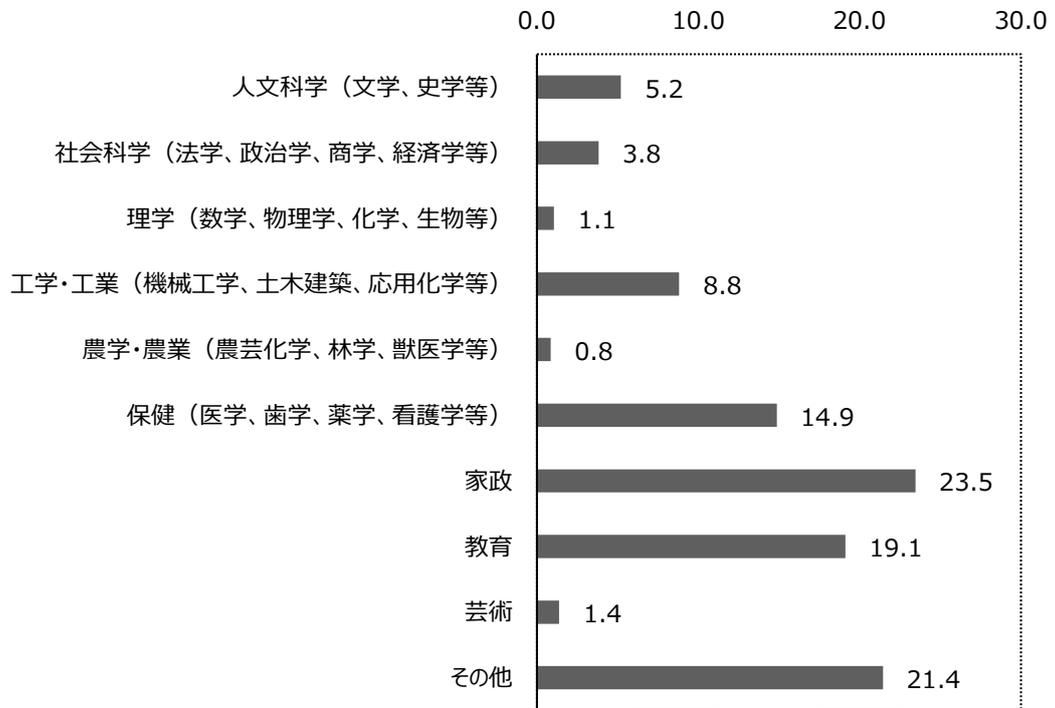


n=1,346

F7 在籍する学部・学科（大学、短期大学）

n=942

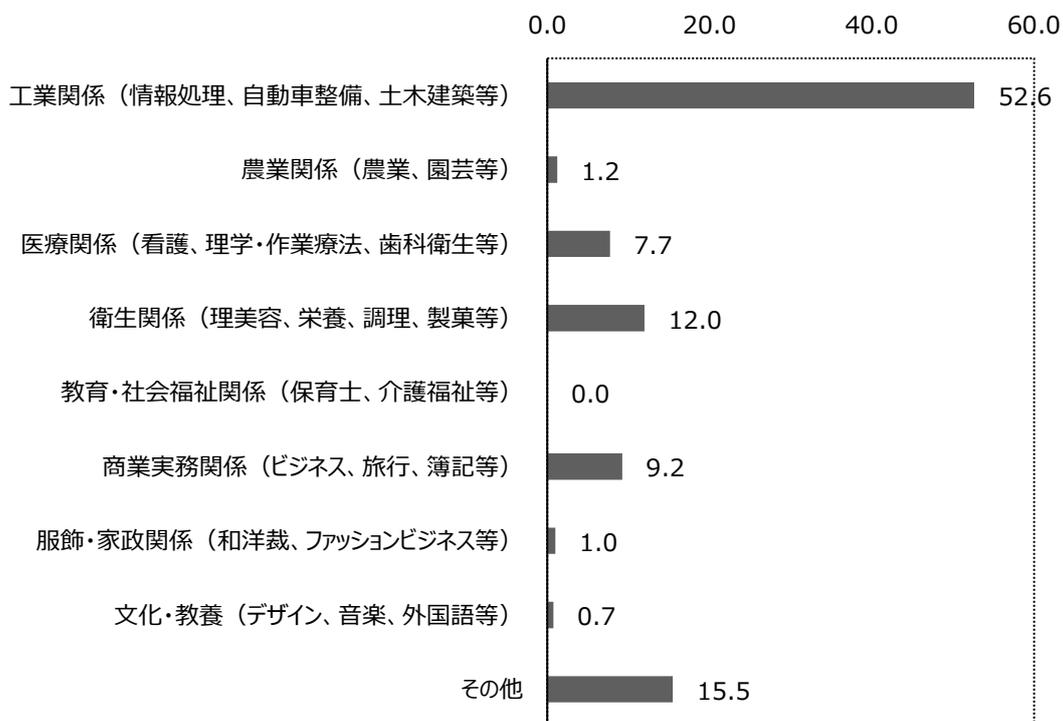
(%)



F8 在籍する分野（専門・専修学校）

n=401

(%)



問1 卒業後の進路（希望）を教えてください。

【全体】

- ・ 卒業後の進路については、「就職」が89.7%である。

【学校の種類別】

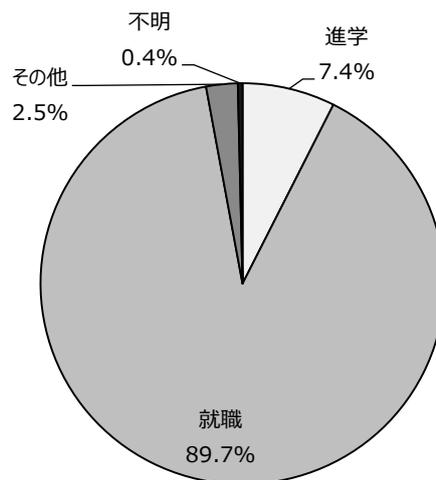
- ・ 「専修学校・各種学校」では、「就職」が他に比べてやや多い。



- 卒業後は、9割程度が就職を考えている。
- 学校の種類別の就職希望をみると、専修学校・各種学校では95.5%と、四年制・六年制大学の87.6%を8ポイントほど上回っている。

【全体】

問1 卒業後の進路



n=1,346

【学校別】

		合計	問1 卒業後の進路（希望）を教えてください。			
			進学	就職	その他	不明
全体		1346	100	1207	34	5
		100.0	7.4	89.7	2.5	0.4
F6 在籍する学校 を教えてください。	四年制・六年制大 学	467	42	409	15	1
		100.0	9.0	87.6	3.2	0.2
	短期大学	475	42	420	13	0
		100.0	8.8	88.4	2.7	0
	専修学校（専門 学校）・各種学校	375	12	358	4	1
		100.0	3.2	95.5	1.1	0.3
	その他の学校	26	4	20	2	0
		100.0	15.4	76.9	7.7	0

問2 将来、就きたい業種を教えてください。

【学校別】

- ・ 「四年制・六年制大学」では、「医療・福祉」(49.9%)が圧倒的で、次いで「未定」(14.1%)となっている。
- ・ 「短期大学」では、「教育・学習支援」(34.5%)、「その他」(14.9%)、「製造業」(9.1%)が多い。
- ・ 「専修学校(専門学校)・各種学校」では、「その他」(46.1%)、「公務」(12.0%)、「製造業」(9.1%)が多い。

【学校別】

		合計	問2 将来、就きたい業種を教えてください。						
			農・林・漁業	鉱業・建設業	製造業	情報通信業	運輸業	金融・保険・不動産業	卸売・小売業
全体		1346 100.0	13 1.0	23 1.7	92 6.8	93 6.9	7 0.5	21 1.6	19 1.4
F6 在籍する学校を教えてください。	四年制・六年制大学	467 100.0	3 0.6	3 0.6	11 2.4	33 7.1	4 0.9	12 2.6	9 1.9
	短期大学	475 100.0	6 1.3	7 1.5	43 9.1	29 6.1	1 0.2	3 0.6	6 1.3
	専修学校(専門学校)・各種学校	375 100.0	4 1.1	11 2.9	34 9.1	23 6.1	2 0.5	6 1.6	4 1.1
	その他の学校	26 100.0	0 0	2 7.7	4 15.4	8 30.8	0 0	0 0	0 0

		合計	問2 将来、就きたい業種を教えてください。						
			宿泊・飲食サービス業	医療・福祉	教育・学習支援	公務	その他	未定	不明
全体		1346 100.0	46 3.4	299 22.2	185 13.7	111 8.2	289 21.5	141 10.5	7 0.5
F6 在籍する学校を教えてください。	四年制・六年制大学	467 100.0	10 2.1	233 49.9	19 4.1	24 5.1	38 8.1	66 14.1	2 0.4
	短期大学	475 100.0	28 5.9	35 7.4	164 34.5	41 8.6	71 14.9	40 8.4	1 0.2
	専修学校(専門学校)・各種学校	375 100.0	8 2.1	30 8.0	1 0.3	45 12.0	173 46.1	33 8.8	1 0.3
	その他の学校	26 100.0	0 0	1 3.8	1 3.8	1 3.8	7 26.9	2 7.7	0 0

問3 将来、就きたい職種を教えてください。

【学校別】

- ・ 「四年制・六年制大学」では、「専門・技術（医師、看護師、教師、保育士、技術者等）」（64.2%）が圧倒的で、次いで「事務」（15.8%）となっている。
- ・ 「短期大学」では、「専門・技術（医師、看護師、教師、保育士、技術者等）」（53.3%）、「サービス（理美容師、調理師、介護士、接客業等）」（13.5%）が多い。
- ・ 「専修学校（専門学校）・各種学校」では、「技能・労務（製造・組立、自動車整備、建設作業等）」（36.8%）、「専門・技術（医師、看護師、教師、保育士、技術者等）」（27.7%）が多い。

【学校別】

		問3 将来、就きたい職種を教えてください。									
		合計	専門・技術 (医師、看護師、教師、保育士、技術者等)	事務	営業・販売	サービス (理美容師、調理師、介護士、接客業等)	運輸・通信 (運転手、郵便配達、人や物の運搬等)	保安(警察官、消防士、自衛官等)	技能・労務 (製造・組立、自動車整備、建設作業等)	農林漁業	不明
全体		1346	667	178	77	159	11	28	207	11	8
		100.0	49.6	13.2	5.7	11.8	0.8	2.1	15.4	0.8	0.6
F6 在籍する学校を教えてください。	四年制・六年制大学	467	300	74	32	38	3	2	13	3	2
		100.0	64.2	15.8	6.9	8.1	0.6	0.4	2.8	0.6	0.4
	短期大学	475	253	62	36	64	4	7	42	5	2
		100.0	53.3	13.1	7.6	13.5	0.8	1.5	8.8	1.1	0.4
	専修学校(専門学校)・各種学校	375	104	41	9	56	4	19	138	3	1
	100.0	27.7	10.9	2.4	14.9	1.1	5.1	36.8	0.8	0.3	
	その他の学校	26	10	1	0	1	0	0	14	0	0
		100.0	38.5	3.8	0	3.8	0	0	53.8	0	0

問4 就職先を検討する際、重視することはなんですか。

【全体】

- ・ 就職先を検討する際、重視することは、「自分の能力や適性に合っている」(50.7%)、「仕事のやりがい」(46.5%)、「給料の高さ」(41.0%)、「安定した雇用」(36.4%)が多い。

【出身地別】

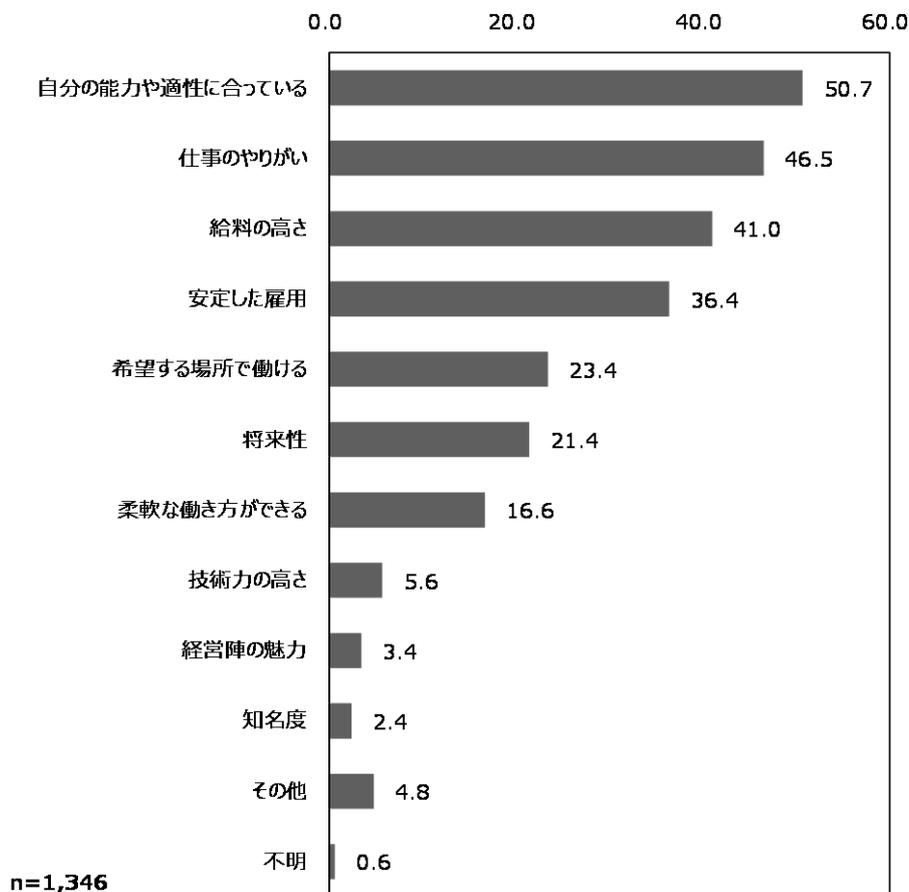
- ・ 出身地を「福島県」「福島県以外」別にみると「自分の能力や適性に合っている」「仕事のやりがい」「給料の高さ」「安定した雇用」の順となっているのは同様である。
- ・ 上位項目のうち「給料の高さ」「安定した雇用」については、「福島県」がやや多く、「自分の能力や適性に合っている」「仕事のやりがい」は「福島県以外」がやや多い。

【全体】

問4 就職先を検討する際、重視すること

(3つまで選択)

(%)

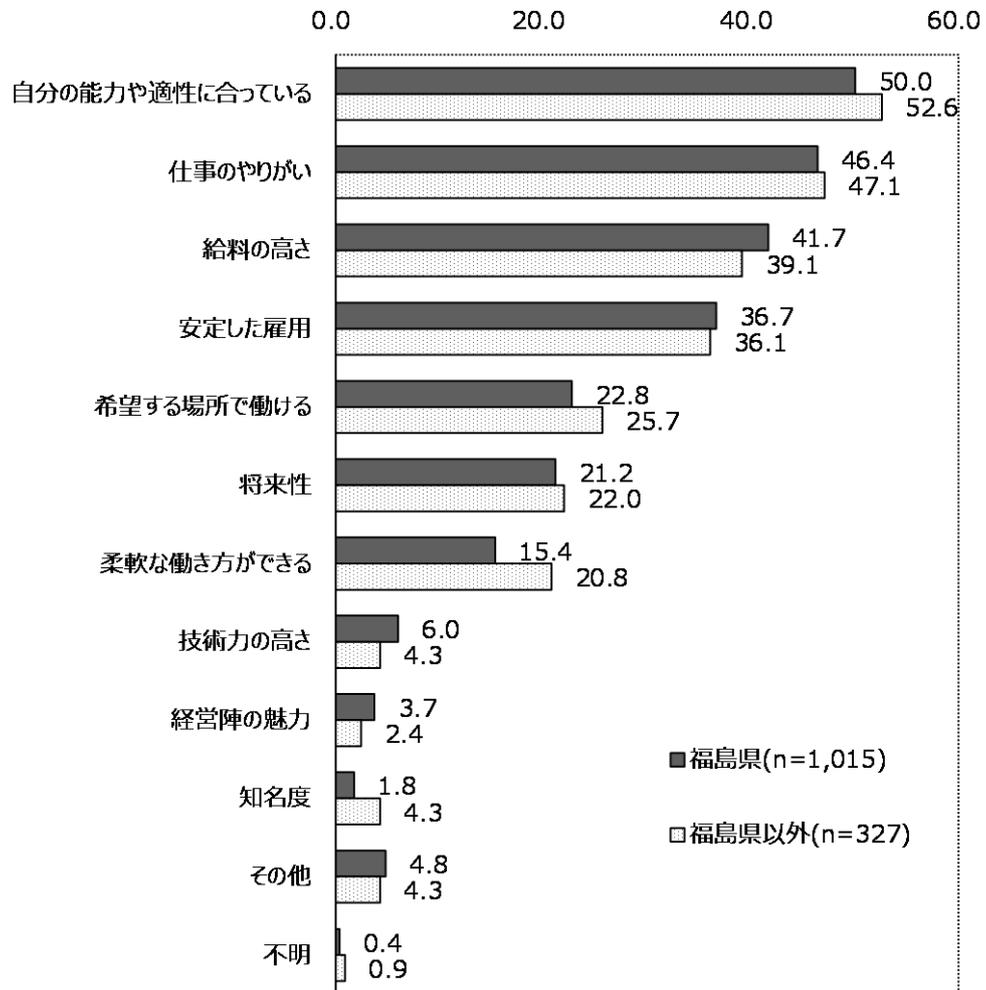


【出身地別】

問4 就職先を検討する際、重視すること

(3つまで選択)

(%)



問5 将来どの地域で働きたいですか。

【全体】

- ・ 将来働きたい地域については、「福島県内」(45.7%)が最も多く、次いで「関東」(27.3%)、「まだ決めていない」(17.2%)が続いている。

【出身地別】

- ・ 出身地が「福島県」では、「福島県内」(56.7%)が最も多く、次いで「関東」(19.4%)、「まだ決めていない」(17.0%)と続いている。
- ・ 出身地が「福島県以外」では、「関東」(52.0%)が最も多く、次いで「まだ決めていない」(17.7%)、「福島県内」(11.6%)と続いている。

【出身地×学校種類×学校所在地】

- ・ 県内出身者のうち、県内の「四年制・六年制大学、短期大学」「専修学校(専門学校)・各種学校、その他の学校」に通う人の約6割が県内での就職を希望している。一方、首都圏の「四年制・六年制大学、短期大学」に通う人では、5割以上が関東での就職を希望している。
- ・ 県外出身者のうち、県内での就職を希望しているのは、県内の「四年制・六年制大学、短期大学」では18.1%にとどまるが、県内の「専修学校(専門学校)・各種学校、その他の学校」では27.3%に上り、「まだ決めていない」も27.3%となっている。一方、首都圏の「四年制・六年制大学、短期大学」では8割以上が関東を希望しており、県内での就職希望者はいない。



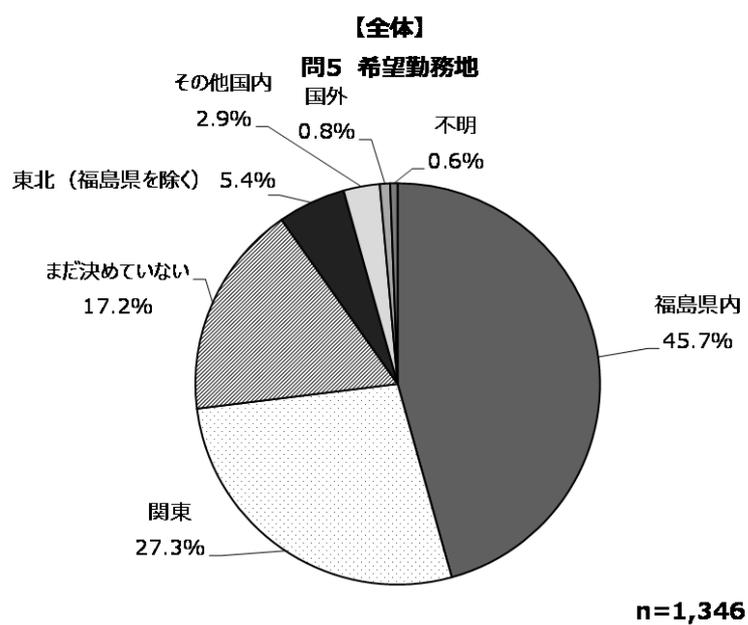
【県内出身者】

- 出身地が「福島県」のうち、将来働きたい地域を「福島県以外」と回答しているのは25.8%となっている。一方、「まだ決めていない」も2割弱あり、どの程度「福島県内」にとどめられるかが鍵となる。
- 首都圏の「四年制・六年制大学、短期大学」に通う人では、5割以上が関東での就職を希望している。

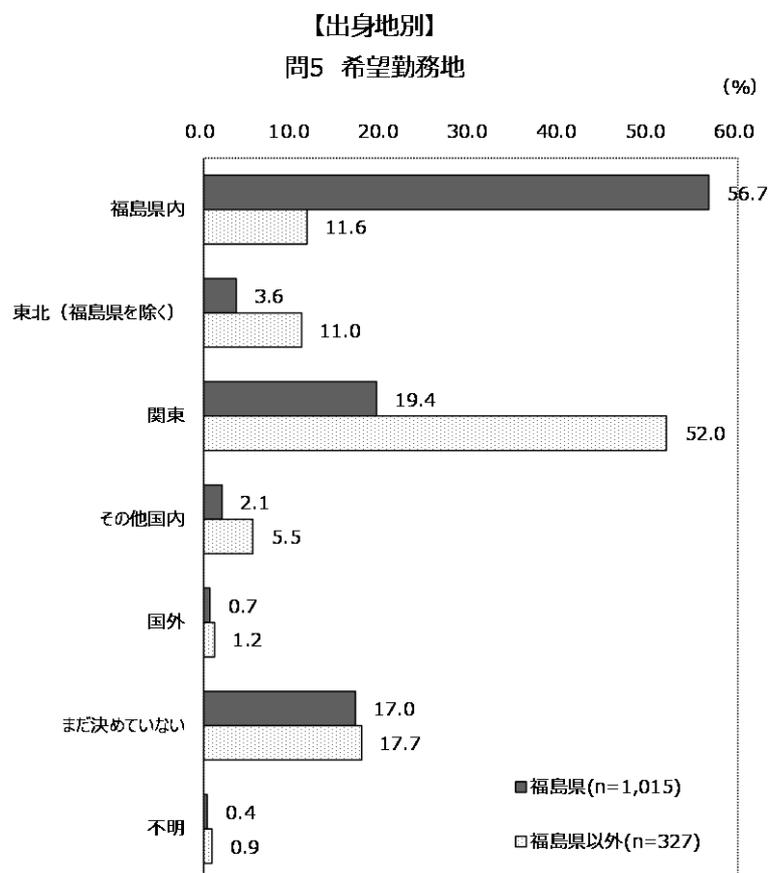
【県外出身者】

- 県内での就職を希望しているのは、県内の「四年制・六年制大学、短期大学」では18.1%にとどまる。
- 県内の「専修学校(専門学校)・各種学校、その他の学校」では27.3%に上り、「まだ決めていない」も27.3%と、県内への就職が5割を超える可能性もある。

【全体】



【出身地別】



【出身地×学校種類×学校所在地】

出身地	学校種類	学校所在地	合計	問5 将来どの地域で働きたいですか。						
				福島県内	東北（福島県を除く）	関東	その他国内	国外	まだ決めていない	不明
県内	四年制・六年制大学、短期大学	県内	641 100.0	361 56.3	28 4.4	114 17.8	14 2.2	4 0.6	118 18.4	2 0.3
	専修学校（専門学校）・各種学校、その他の学校	県内	355 100.0	207 58.3	8 2.3	76 21.4	7 2.0	3 0.8	53 14.9	1 0.3
	四年制・六年制大学、短期大学	首都圏	11 100.0	3 27.3	0 0	6 54.5	0 0	0 0	2 18.2	0 0
県外	四年制・六年制大学、短期大学	県内	160 100.0	29 18.1	23 14.4	64 40.0	13 8.1	1 0.6	30 18.8	0 0
	専修学校（専門学校）・各種学校、その他の学校	県内	33 100.0	9 27.3	7 21.2	6 18.2	2 6.1	0 0	9 27.3	0 0
	四年制・六年制大学、短期大学	首都圏	116 100.0	0 0	1 0.9	94 81.0	3 2.6	1 0.9	15 12.9	2 1.7

【問5で「福島県内」を選んだ方】

問6 将来、県内のどの地域で働きたいですか。

【全体】

- ・ 将来働きたい地域で「福島県内」と答えた人に対して、具体的な県内の地域を聞いたところ、「県中」(38.9%)が最も多く、次いで「まだ決めていない」(16.9%)、「県北」(13.8%)と続いている。「南会津」には回答がなかった。

【出身地別】

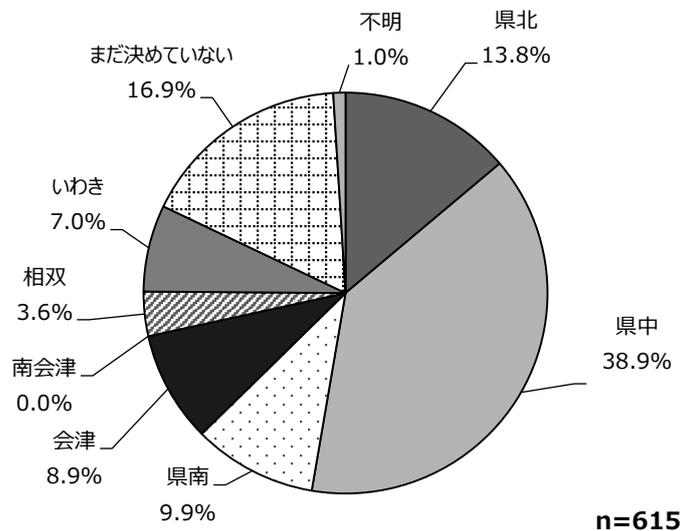
- ・ 出身地別にみると、出身地が「福島県」では、「県中」(39.4%)が最も多く、次いで「まだ決めていない」(16.5%)、「県北」(13.0%)と続いている。
- ・ 出身地が「福島県以外」では、「県中」(28.9%)が最も多いのは同様で、次いで「県北」(26.3%)、「まだ決めていない」(23.7%)と続いている。



- 全体でみると、将来働きたい地域は、「県中」「県北」合計で52.7%、「県南」を含めた「中通り」では6割を超え、県内での就職先を検討する際は「中通り」が中心となっている。

【全体】

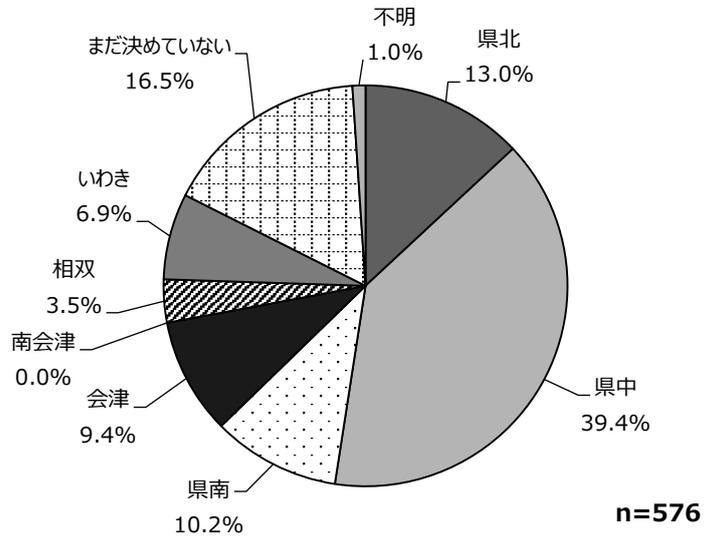
問6 県内の希望勤務地



【出身地別】

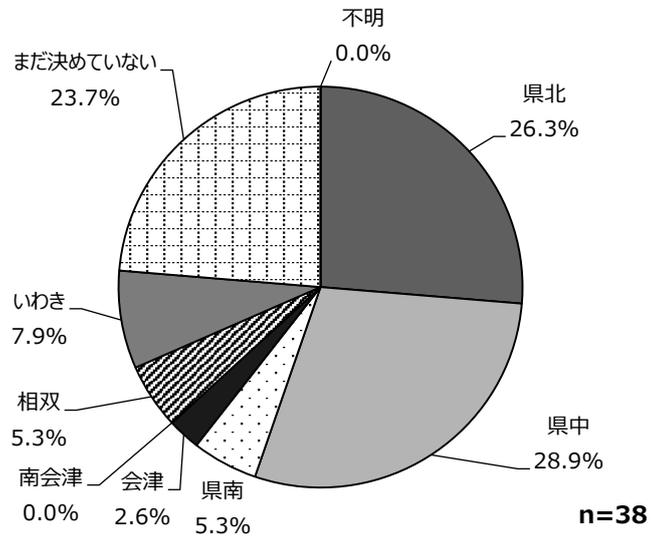
【県内出身者】

問6 県内希望勤務地



【県外出身者】

問6 県内希望勤務地



問7 問5の回答理由を教えてください。

【全体】

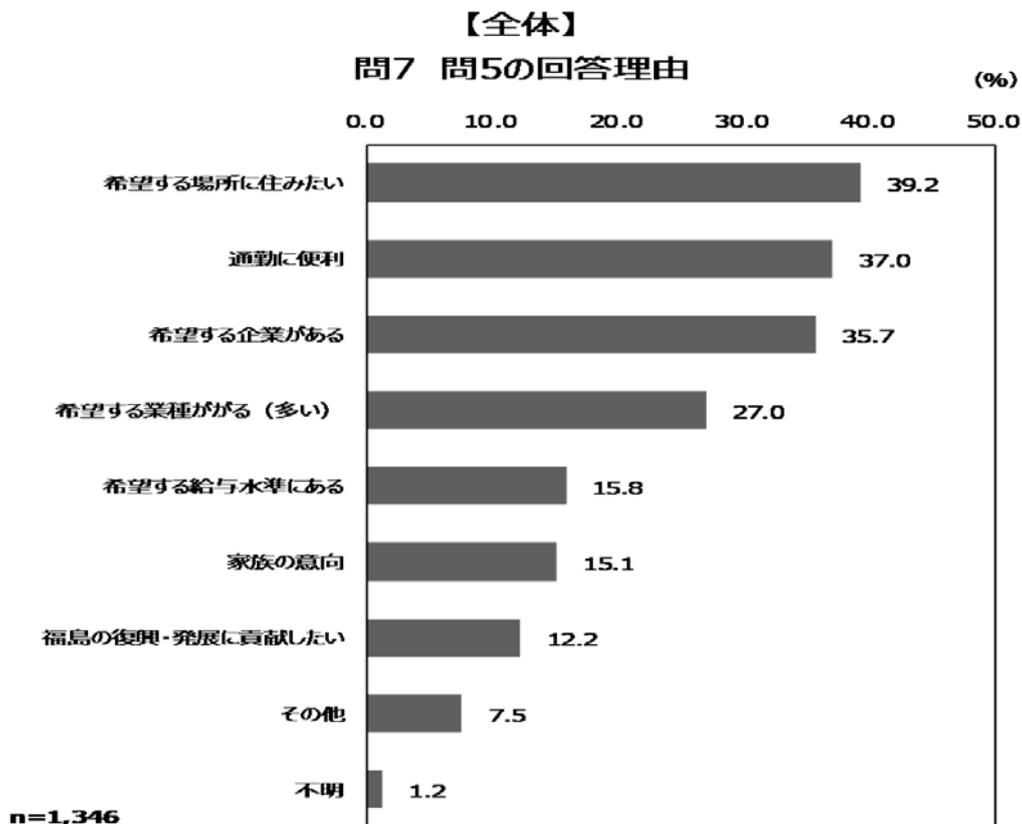
- ・ 将来働きたい地域を選んだ理由について聞いたところ、「希望する場所に住みたい」(39.2%)が最も多く、次いで「通勤に便利」(37.0%)、「希望する企業がある」(35.7%)と続いている。

【希望勤務地別】

- ・ 希望勤務地別にみると、「福島県内」では「通勤に便利」(49.1%)が最も多く、次いで「希望する企業がある」(40.2%)、「希望する場所に住みたい」(31.1%)と続いている。
- ・ 希望勤務地が「関東」「東北(福島県を除く)」など、「福島県内」以外の地域では、「希望する場所に住みたい」が最も多い結果となっている。



- 「福島県内」では、通勤の利便性や希望する企業など、仕事を中心に勤務地を希望している割合が高い。一方、「福島県外」では、「希望する場所に住みたい」の割合が最も高く、仕事よりも生活環境を優先して勤務地を選ぶ傾向が窺える。



【希望勤務地別】

		問7 希望する勤務地の理由を教えてください。									
		合計	希望する企業がある	希望する業種が 多い	希望する給与水準にある	希望する場所に 住みたい	通勤に便利	家族の意向	福島復興・発展に 貢献したい	その他	不明
全体		1346 100.0	480 35.7	363 27.0	212 15.8	528 39.2	498 37.0	203 15.1	164 12.2	101 7.5	16 1.2
問5 将来どの地域で働きたいですか。	福島県内	615 100.0	247 40.2	115 18.7	53 8.6	191 31.1	302 49.1	122 19.8	136 22.1	29 4.7	6 1.0
	東北（福島県を除く）	73 100.0	22 30.1	21 28.8	15 20.5	36 49.3	25 34.2	12 16.4	4 5.5	4 5.5	0 0
	関東	368 100.0	147 39.9	145 39.4	82 22.3	189 51.4	108 29.3	29 7.9	4 1.1	15 4.1	1 0.3
	その他国内	39 100.0	11 28.2	11 28.2	7 17.9	27 69.2	8 20.5	4 10.3	0 0	10 25.6	0 0
	国外	11 100.0	5 45.5	2 18.2	3 27.3	5 45.5	0 0	0 0	0 0	3 27.3	1 9.1
	まだ決めていない	232 100.0	48 20.7	69 29.7	52 22.4	80 34.5	55 23.7	36 15.5	20 8.6	40 17.2	0 0
	不明	8 100.0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	8 100.0

問8 あなたは、これからも福島県に住みたいと思いますか。

【全体】

- ・ 今後の福島県への居留意向については、「分からない」(36.9%)が最も多く、「一度は県外に出ても、福島に戻って住みたい」(28.0%)、「ずっと住みたい」(21.3%)と続いている。

【県内・県外大学別】

- ・ 「県内大学」をみると、「ずっと住みたい」(23.6%)、「一度は県外に出ても、福島に戻って住みたい」(30.5%)の合計が5割を超える。一方、「分からない」も3割に達している。
- 「県外大学」をみると、「住みたい」(2.1%)、「一度は県外に出ても、福島に戻って住みたい」(7.0%)の合計が9.1%にとどまり、「住みたくない」(23.1%)となっている。また、「分からない」(65.7%)が6割を超えている。

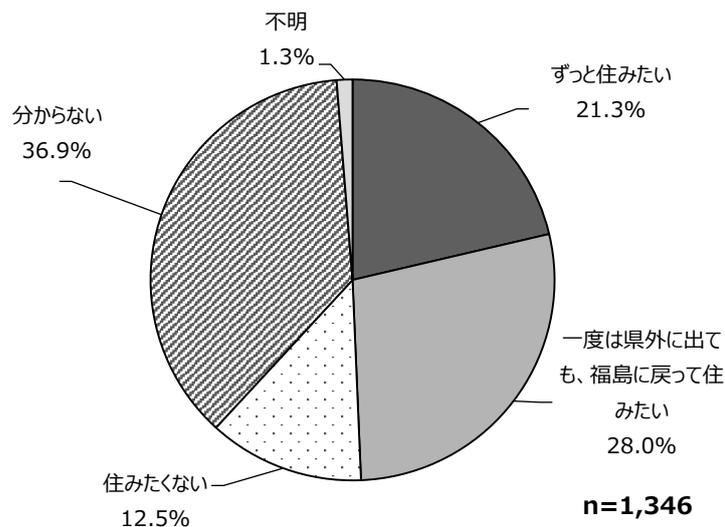


- 「分からない」と回答した人は、「県内大学」で約3割、「県外大学」で約6割と多いことから、こうした学生を本県居住に引き込むためにも、福島県内の就職先に関する情報提供や本県の魅力度向上などがより一層求められる。

【全体】

【全体】

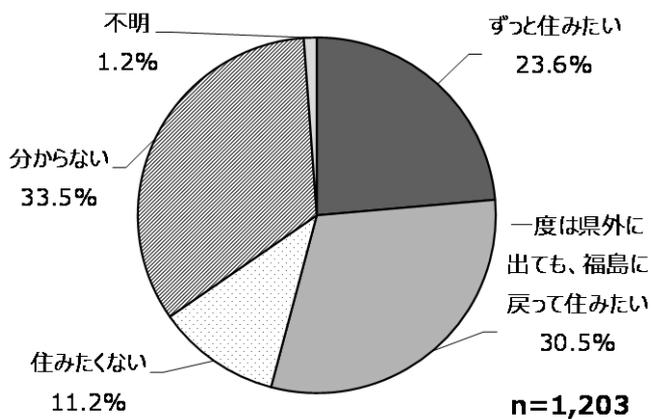
問8 本県居住の意向



【県内・県外大学別】

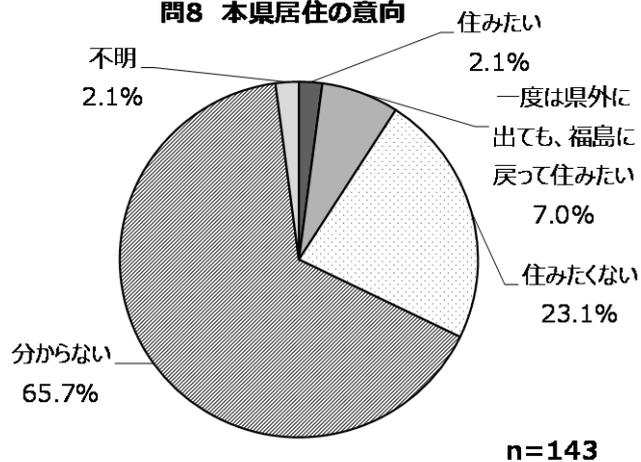
【県内大学】

問8 本県居住の意向



【県外大学】

問8 本県居住の意向



【問8で「ずっと住みたい」「一度は県外に出ても、福島に戻って住みたい」を選んだ方】

問9 福島県に住みたい理由を教えてください。

【全体】

- ・ 福島県に「ずっと住みたい」「一度は県外に出ても、福島に戻って住みたい」と回答した人に、その理由を聞いたところ、「地元の生活に慣れている」(52.1%)が5割を超え最も多く、次いで「両親や祖父母の近くで生活したい」(40.2%)、「地元で友人、知人が多い」(33.6%)と続いている。

【県内・県外大学別】

- ・ 「県内大学」をみると、「地元の生活に慣れている」(52.7%)が最も多く、次いで「両親や祖父母の近くで生活したい」(40.4%)、「地元で友人、知人が多い」(33.6%)と続いている。
- ・ 「県外大学」をみると、「両親や祖父母の近くで生活したい」「地元で友人、知人が多い」「ゆとりのある暮らしができる」「地元で貢献したい」(30.8%)が同じ割合で最も高い。

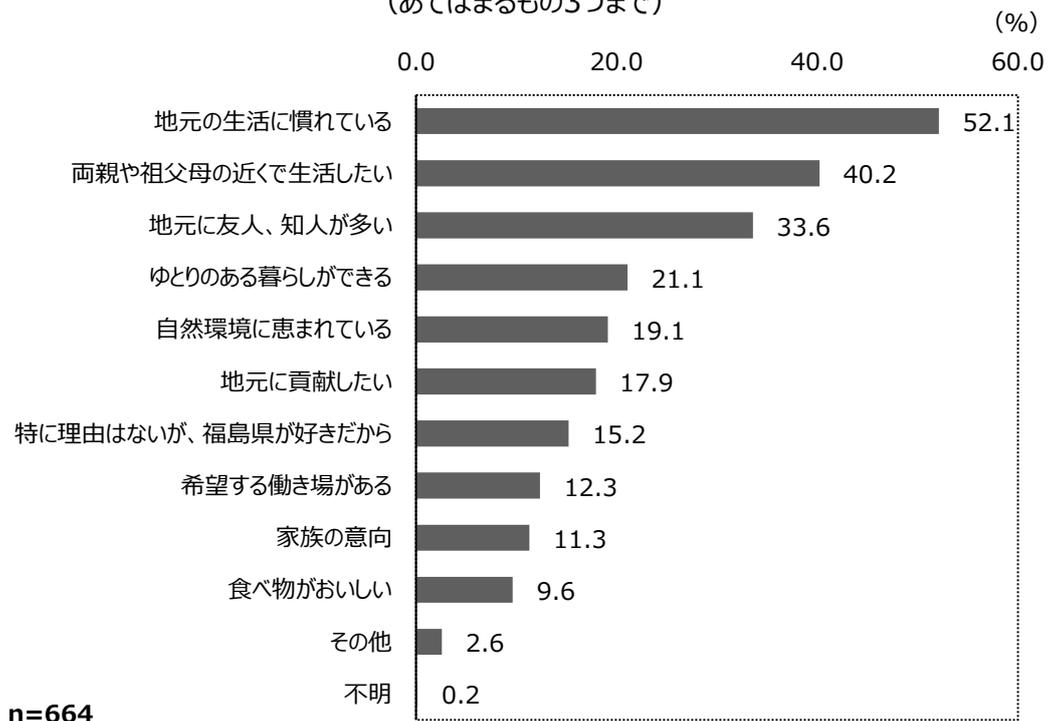


- 福島県に住みたいのは、「県内大学」「県外大学」とも、ゆとりのある生活環境や家族および友人などの人的な要因が上位を占めている。

【全体】

問9 福島県に住みたい理由

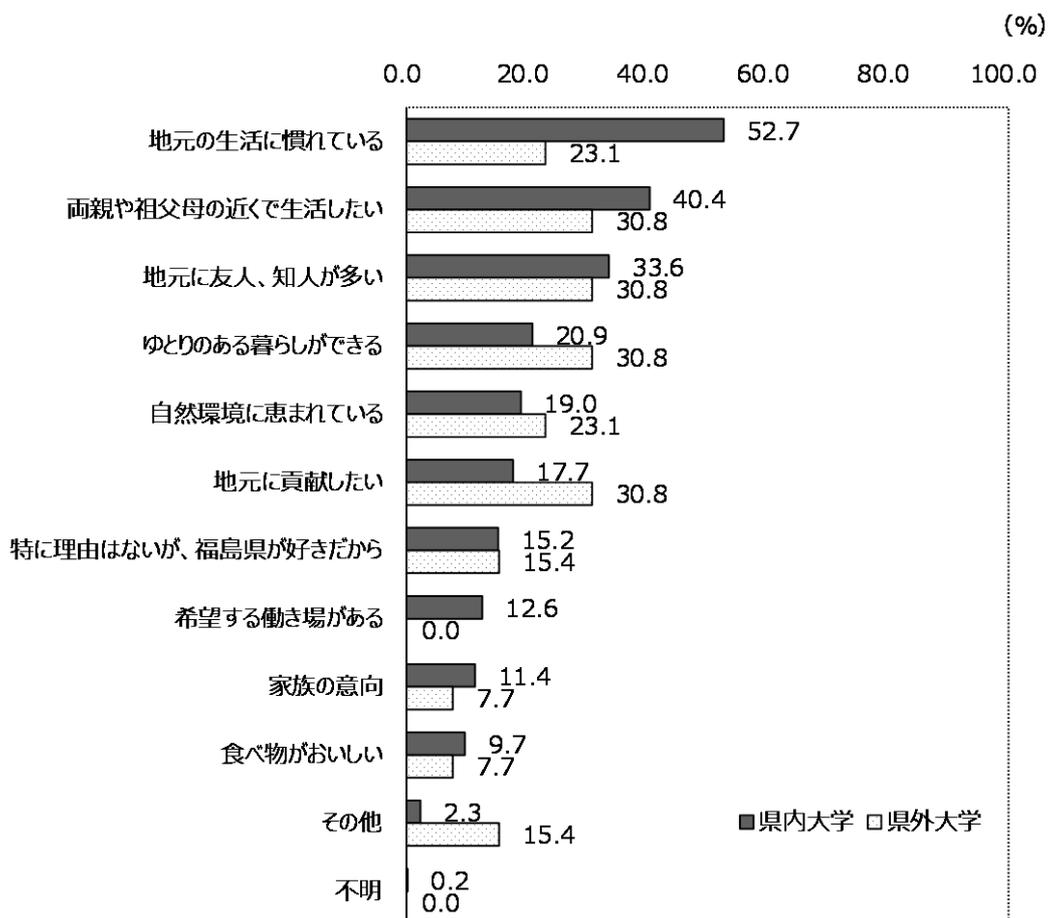
(あてはまるもの3つまで)



【県内・県外大学別】

問10 福島県に住みたい理由

(あてはまるもの3つまで)



【問8で「住みたくない」を選んだ方】

問10 福島県に住みたくない理由を教えてください。

【県内・県外大学別】※県内・県外大学で選択肢が異なるため、全体はなし。

- ・ 「県内大学」では、「福島県に友人、知人が少ない」(100.0%)が最も多く、次いで「特に理由はないが、福島県以外で暮らしたい」(29.6%)、「県外出身者であり、地元に戻りたい」(27.4%)が続いた。
- ・ 「県外大学」では、「都会の方が便利そう」(57.6%)が最も多く、「交通が不便」と「福島県に馴染みがない」(42.4%)が次に多かった。

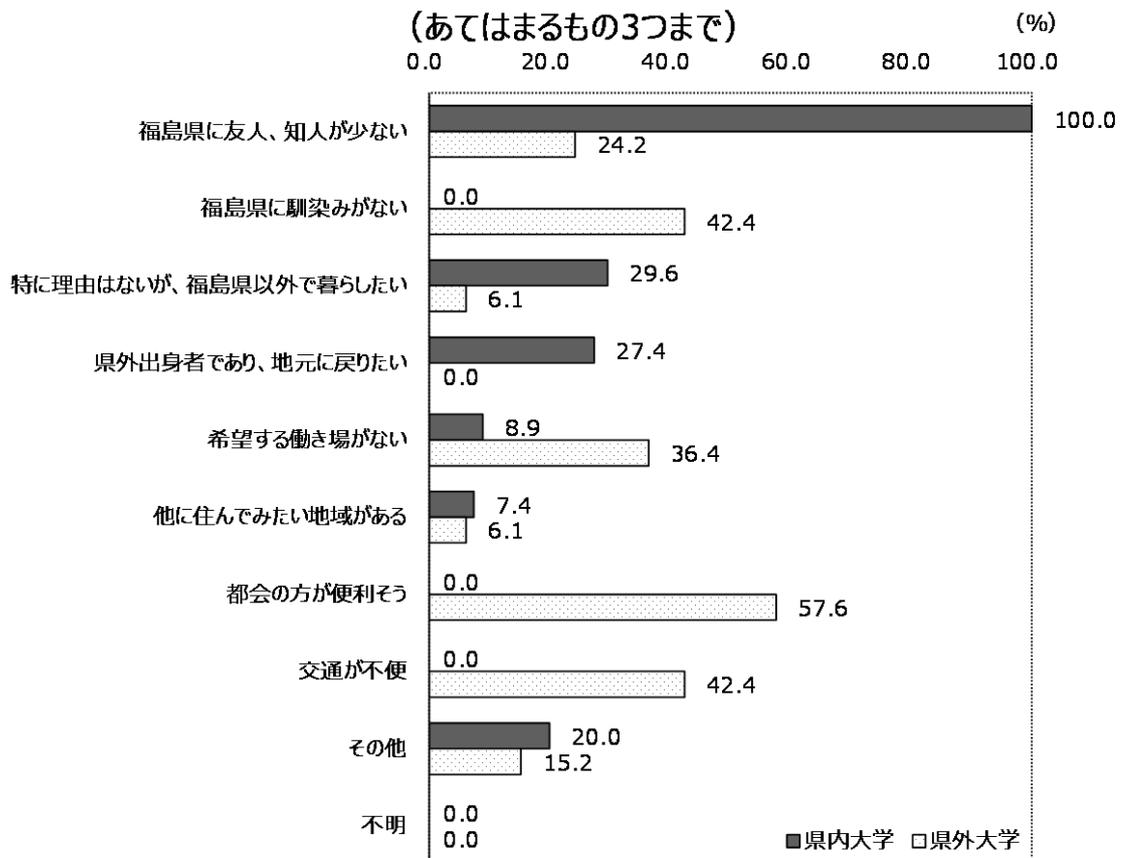


- 福島県に住みたくないのは、「県内大学」では友人、知人が少ないことが最大の理由であり、「県外大学」では交通の便などの利便性が要因とみられる。

【県内・県外大学別】

問10 福島県に住みたくない理由

(あてはまるもの3つまで)



注:「県外出身者であり、地元に戻りたい」は県内大学のみ、「福島県に馴染みがない」は県外大学のみ。の選択肢。

問 11 福島県内の進学・就職（Uターンを含む）を希望する方が増えるためには、どのような条件・環境が必要だと思いますか。

【全体】

- ・ 福島県内の進学・就職（Uターンを含む）を希望する方が増えるために必要な条件・環境については、「働きたいと思える雇用の場がある」（39.6%）が最も多く、次いで「県内で希望する学問・技術を学べる」（32.6%）、「県内に魅力ある大学等がある」（29.9%）と続いている。

【出身地別】

- ・ 「福島県」では、「働きたいと思える雇用の場がある」（39.1%）が最も多く、次いで「県内で希望する学問・技術を学べる」（33.9%）などが続いた。
- ・ 「福島県以外」では、「福島県」と同様に「働きたいと思える雇用の場がある」（44.1%）が最も多く、「県内に魅力ある大学等がある」（34.3%）が2番目に多かった。



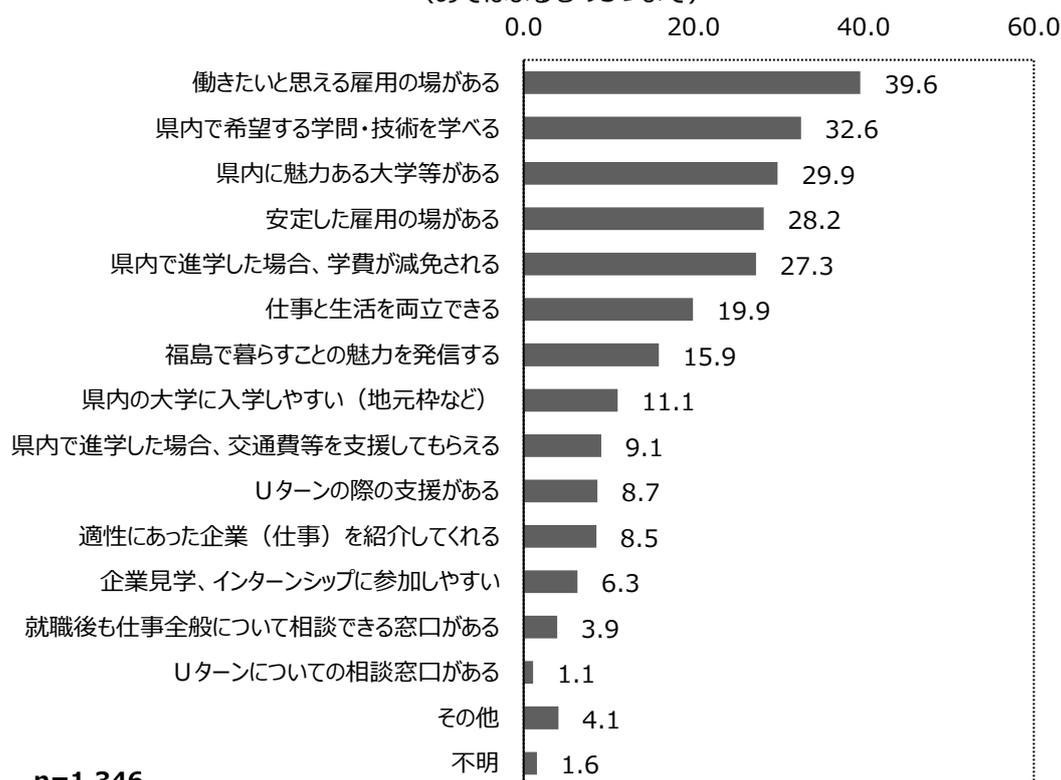
- 福島県内の進学・就職希望者を増やすには、学生が希望する学問・技術を学ぶことができる大学と、学んだ学問・技術を生かせる雇用の場が必須要件とみられる。

【全体】

問11 福島県内の進学・就職（Uターンを含む）を希望する方が増えるために必要な条件・環境

（あてはまるもの3つまで）

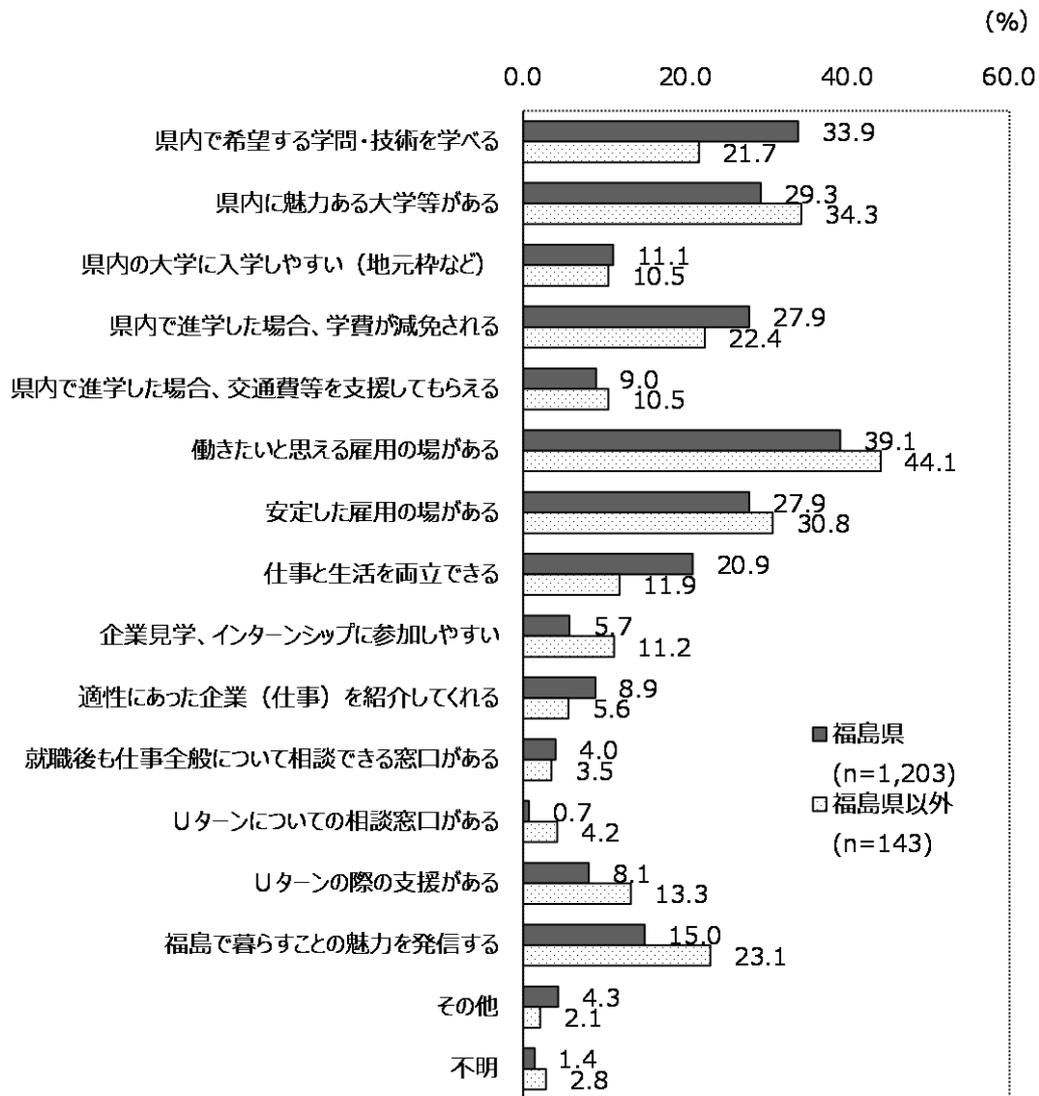
(%)



n=1,346

【出身地別】

問11 福島県内の進学・就職（Uターンを含む）を希望する方が増えるために必要な条件・環境（あてはまるもの3つまで）



問 12 福島県の復興は進んでいると思いますか。

【全体】

- ・ 福島県の復興は進んでいると思うかについて聞いたところ、「そう思う」(22.9%)、「どちらかといえばそう思う」(41.4%)と、6割以上が肯定的な見方をしている。
- ・ 一方、「そう思わない」(4.4%)、「どちらかといえばそう思わない」(6.2%)と、否定的な見方は1割強となっている。

【出身地別】

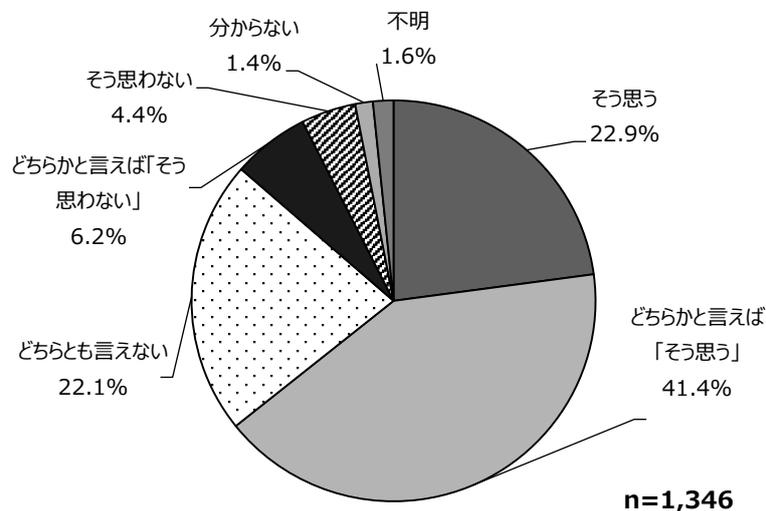
- ・ 出身地別で見ると、「分からない」が「福島県以外」でやや多いものの、出身地が「福島県」と「福島県以外」で福島県の復興に対する認識に大きな違いはみられなかった。



- 出身地が「福島県」と「福島県以外」で福島県の復興に対する認識に大きな違いは確認されず、「福島県」と「福島県以外」での復興に対する関心にも格差はほとんどないものとみられる。

【全体】

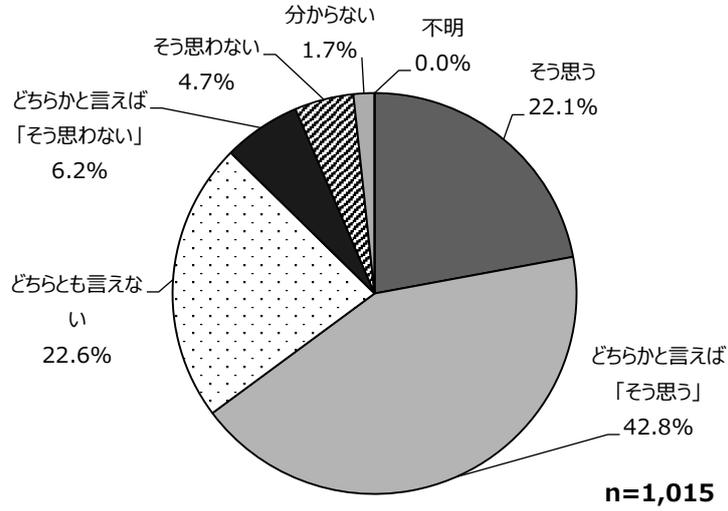
問12 本県復興の進捗



【出身地別】

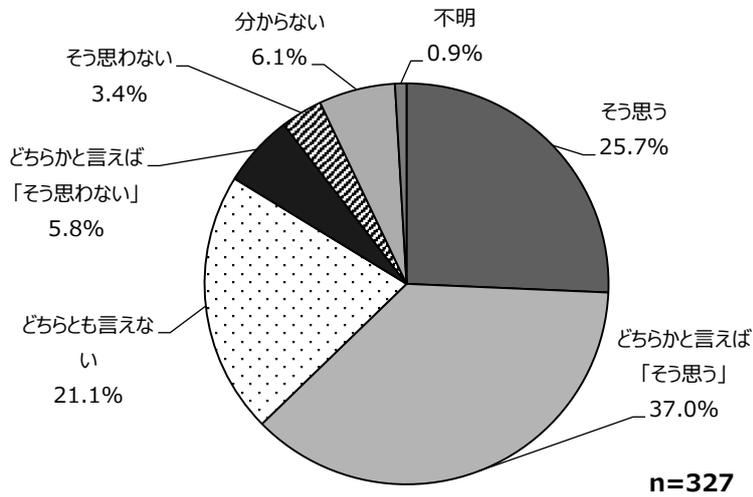
【県内出身者】

問12 本県復興の進捗



【県外出身者】

問12 本県復興の進捗



【問 12 で「どちらとも言えない」「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」を選んだ方】

問 13 福島県の復興を進めるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

【全体】

- ・ 福島県の復興を進めるために必要な取り組みを聞いたところ、「子育て・教育環境の整備」(45.2%) が最も多く、次いで「避難地域の復興」(34.3%)、「環境の回復(除染土の排出、食品の安全管理など)」(33.2%) と続いている。

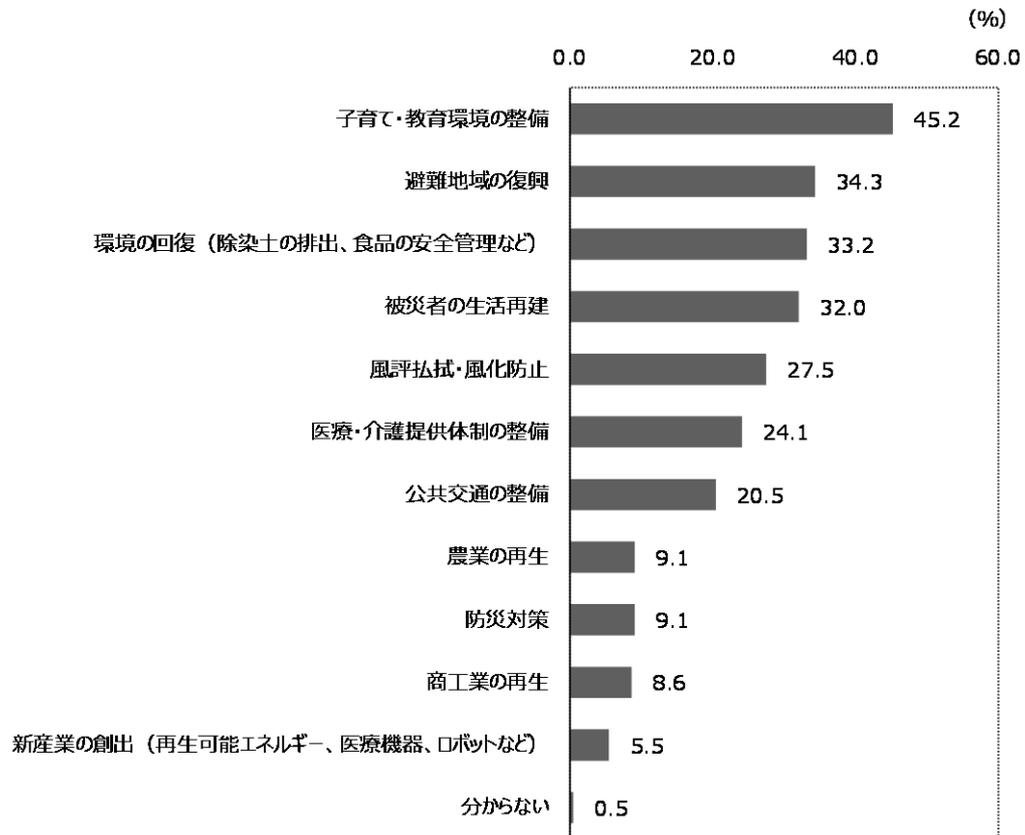


- 震災後における福島県の自然減は顕著であることから、子どもを安心して産み育てることができる子育て・教育環境の整備が福島県の復興における最大の課題とみられる。

【全体】

n=440

問13 福島県内の復興を進めるために必要な取り組み
(あてはまるもの3つまで)



「分からない」は県外大学のみを選択肢

問 14 あなたは、福島県の復興に何らかの形で関わっていきたいと思いますか。

【全体】

- ・ 今後、福島県の復興への関わりについての意向を聞いたところ、「そう思う」(30.6%)、「どちらかと言えばそう思う」(36.8%) と、何らかの形で関わっていく意向を示したのは67.4%に上っている。
- ・ 一方、「そう思わない」(5.7%)、「どちらかと言えばそう思わない」(3.3%) と、否定的な見方は1割に満たず、多くの人に関わりを持ちたいと考えている。

【出身地×学校所在地】

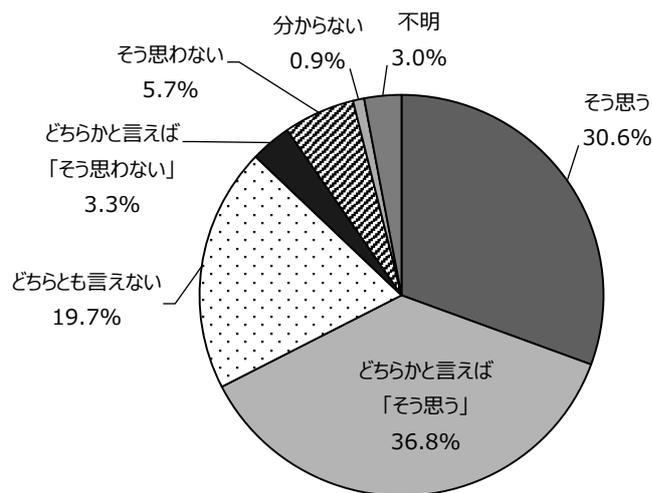
- ・ 福島県の復興に何らかの形で関わりたいとの意向を持っている人は、県内出身者で、県内の学校に通う人の約7割、県外の学校に通う人でも6割以上に上っている。
- ・ 県外出身者でも、県内の学校に通う人の約7割、県外の学校に通う人の5割以上に上っており、出身地や学校の所在地に関わらず、多くの人に関心を持っていることがわかる。



- 出身地や大学の所在地に関わらず、福島県の復興に関わりたいとの意向を持っている人は7割程度と過半数を占めている。

【全体】

問14 福島県の復興への関わり



n=1,346

【出身地×学校所在地】

出身地	学校所在地	合計	問14 あなたは、福島県の復興に何らかの形で関わってきたいと思いますか。						
			そう思う	どちらかと言えば「そう思う」	どちらとも言えない	どちらかと言えば「そう思わない」	そう思わない	分からない	不明
県内	福島県内	1001	322	374	202	30	56	0	17
		100.0	32.2	37.4	20.2	3.0	5.6	0	1.7
	福島県以外	13	5	3	1	1	1	0	2
		100.0	38.5	23.1	7.7	7.7	7.7	0	15.4
県外	福島県内	197	54	79	43	6	15	0	0
		100.0	27.4	40.1	21.8	3.0	7.6	0	0
	福島県以外	129	31	40	16	7	5	12	18
		100.0	24.0	31.0	12.4	5.4	3.9	9.3	14.0

問15 これから、福島県がどのような県になってほしいと思いますか。

【全体】

- ・ 今後、福島県がどのような県になってほしいか聞いたところ、「快適な生活環境の中で暮らせる」(42.8%)が最も多く、次いで「交通が便利で、どこにでも気軽に出かけられる」(35.4%)、「豊かな自然環境が守られている」(34.4%)と続いている。

【出身地別】

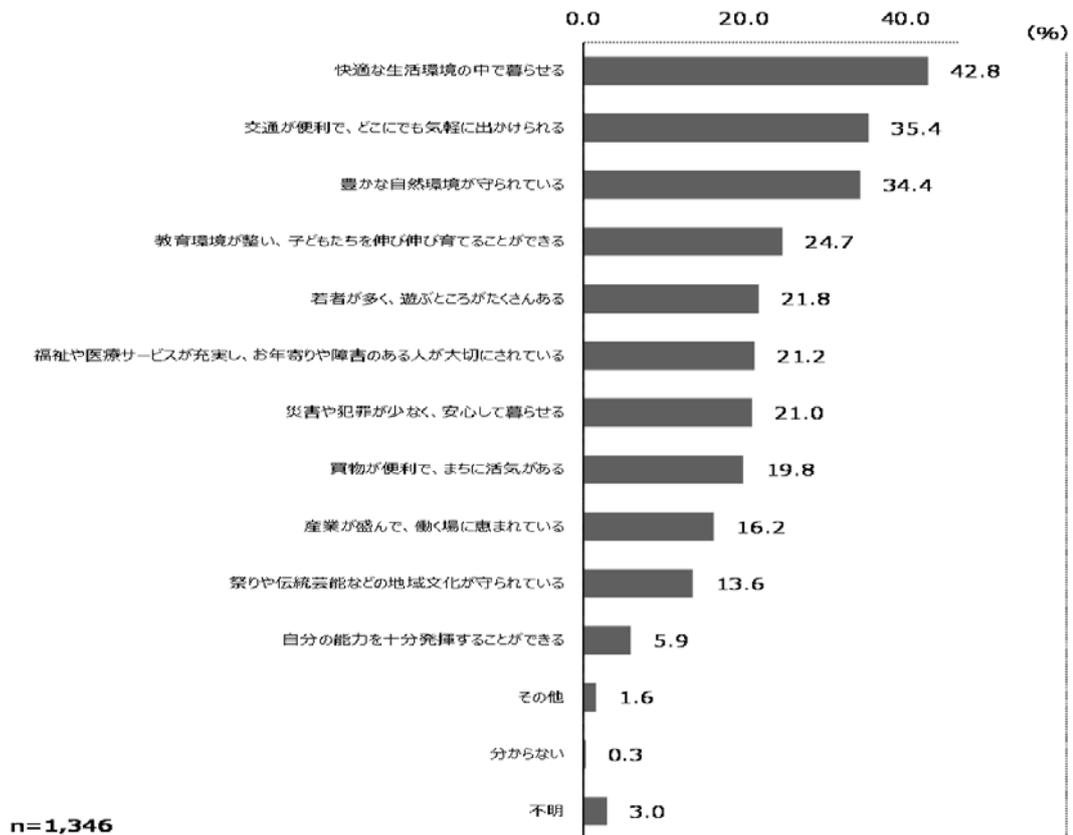
- ・ 出身地別で見ると、順位に入れ替わりはあるものの、「福島県」「福島県以外」に関係なく、上位3位までは「快適な生活環境の中で暮らせる」「交通が便利で、どこにでも気軽に出かけられる」「豊かな自然環境が守られている」が占めている。



- 福島県に望むのは、本県の特長である豊かな自然環境をこれまで通り保つとともに、交通などの利便性を高めることにより、一層快適な生活環境が整備されることであると考えられる。

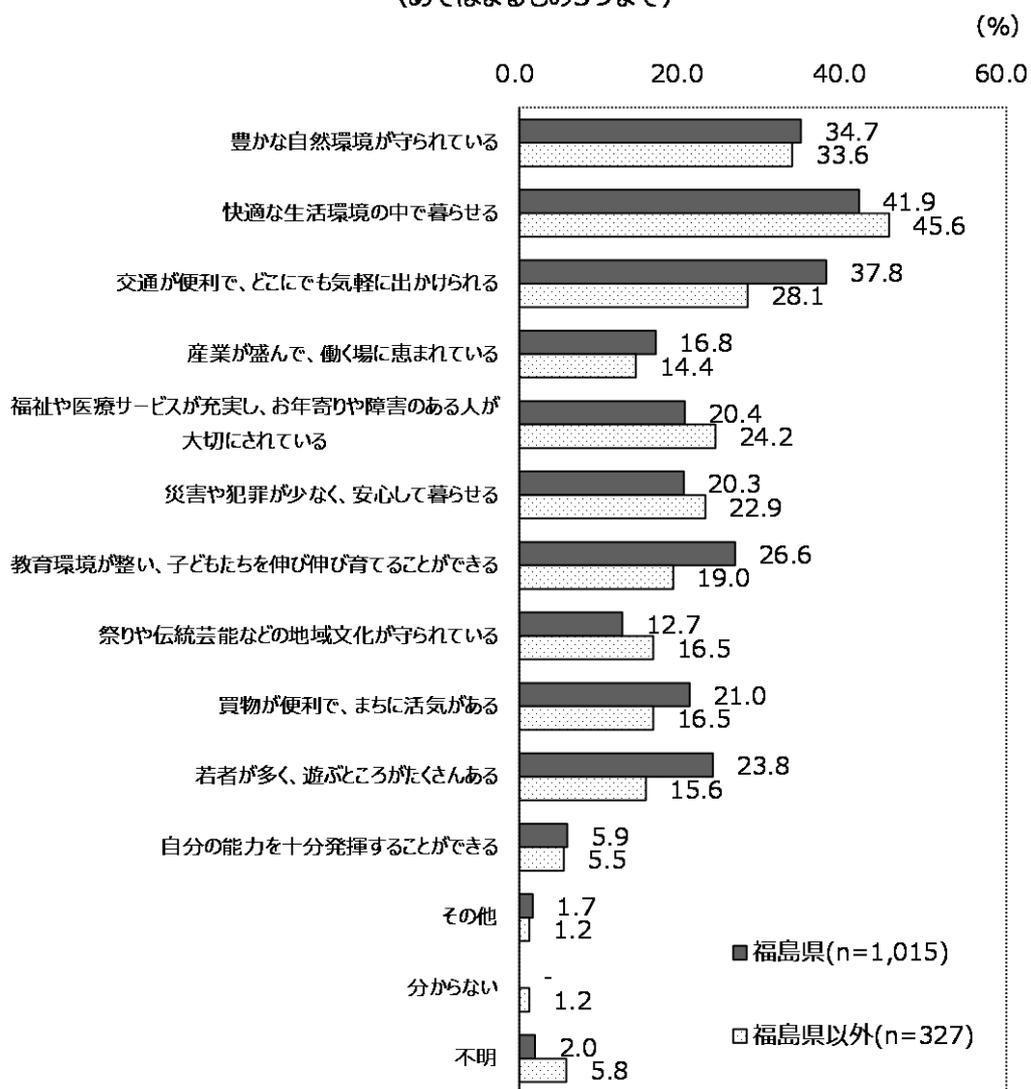
【全体】

問15 福島県に望む姿
(あてはまるもの3つまで)



【出身地別】

問15 福島県に望む姿
(あてはまるもの3つまで)



「分からない」は県外大学のみを選択肢

3 まとめ

①進路の意向（4ページ 問1、10ページ 問5）

○進路

卒業後の進路は、約9割が就職を希望している。

○県内出身者×県内大学

県内出身者のうち、県内の「四年制・六年制大学、短期大学」「専修学校（専門学校）・各種学校、その他の学校」に通う人の約6割が県内での就職を希望している。

○県内出身者×首都圏大学

県内出身者で首都圏の「四年制・六年制大学、短期大学」に通う人では、5割以上が関東での就職を希望し、県内への就職希望は3割弱にとどまる。

○県外出身者×県内大学

県外出身者で県内の「四年制・六年制大学、短期大学」に通う人では、県内での就職を希望する割合は18.1%にとどまるが、県内の「専修学校（専門学校）・各種学校、その他の学校」では27.3%に上り、「まだ決めていない」も27.3%となっている。

○県外出身者×首都圏大学

県外出身者で首都圏の「四年制・六年制大学、短期大学」に通う人では、8割以上が関東での就職を希望している。

⇒将来働きたい地域については、「まだ決めていない」が全体の2割近くに上っており、県内就職促進に向けた取組が求められる。希望する勤務地を選んだ理由では、県内・県外ともに「希望する場所に住みたい」「希望する企業・業種がある」「通勤に便利」への回答が多く、県内就職希望者を増やすには、企業の魅力度向上のみならず、交通アクセスの利便性向上や商業施設の集積などの生活環境面における改善も必要であると考えられる。

②県内の進学・就職を増やすために（22ページ 問11）

○福島県内の進学・就職（Uターンを含む）を希望する方を増やすために必要な条件・環境については、「働きたいと思える雇用の場がある」（39.6%）が最も多く、次いで「県内で希望する学問・技術を学べる」（32.6%）、「県内に魅力ある大学等がある」（29.9%）と続いている。

○出身地別でみると、「福島県」「福島県以外」とも、「働きたいと思える雇用の場がある」が最も多く、次に多いのが、「福島県」では「県内で希望する学問・技術を学べる」、「福島県以外」では「県内に魅力ある大学等がある」となった。

⇒県内の進学・就職を増やすには、学生が希望する学問・技術を学ぶことができる魅力的な大学や、学んだ学問・技術を生かせる就職先を県内で確保することが最大

の要件となる。但し、このような大学や就職先を確保するには、相応の時間を要するものと考えられることから、就活生への県内の企業情報の発信や就職活動に係る交通費等の補助などの多面的な取り組みが求められる。

F 6 在籍する学校を教えてください。

- | | | | |
|-------------|-----------|-------------------|-----------|
| 1 四年制・六年制大学 | } → F 7 へ | 3 専修学校（専門学校）・各種学校 | } → F 8 へ |
| 2 短期大学 | | 4 その他の学校 | |

< F 6 で「1」又は「2」を選択された方に伺います >

F 7 学部・学科を教えてください。

- 1 人文科学（文学、史学等）
- 2 社会科学（方角、政治学、商学、経済学等）
- 3 理学（数学、物理学、化学、生物等）
- 4 工学・工業（機械工学、土木建築、応用化学等）
- 5 農学・農業（農芸化学、林学、獣医学等）
- 6 保健（医学、歯学、薬学、看護学等）
- 7 家政
- 8 教育
- 9 芸術
- 10 その他

< F 6 で「3」又は「4」を選択された方に伺います >

F 8 在籍している分野を教えてください。

- 1 工業関係（情報処理、自動車整備、土木建築等）
- 2 農業関係（農業、園芸等）
- 3 医療関係（看護、理学・作業療法、歯科衛生等）
- 4 衛生関係（理美容、栄養、調理、製菓等）
- 5 教育・社会福祉関係（保育士、介護福祉等）
- 6 商業実務関係（ビジネス、旅行、簿記等）
- 7 服飾・家政関係（和洋裁、ファッションビジネス等）
- 8 文化・教養（デザイン、音楽、外国語等）
- 9 その他

問 1 卒業後の進路（希望）を教えてください。

- 1 進学
- 2 就職
- 3 その他

問 2 将来、就きたい業種を教えてください。

- | | | |
|----------|--------------|--------|
| 1 農・林・漁業 | 6 金融・保険・不動産業 | 11 公務 |
| 2 鉱業・建設業 | 7 卸売・小売業 | 12 その他 |
| 3 製造業 | 8 宿泊・飲食サービス業 | 13 未定 |
| 4 情報通信業 | 9 医療・福祉 | |
| 5 運輸業 | 10 教育・学習支援 | |

問3 将来、就きたい職種を教えてください。

- 1 専門・技術（専門・技術（医師、看護師、教師、保育士、技術者等）
- 2 事務
- 3 営業・販売
- 4 サービス（理美容師、調理師、介護士、接客業等）
- 5 運輸・通信（運転手、郵便配達、人や物の運搬等）
- 6 保安（警察官、消防士、自衛官等）
- 7 技能・労務（製造・組立、自動車整備、建設作業等）
- 8 農林漁業

問4 就職先を検討する際、重視することはなんですか。あてはまるものを3つまで選択してください。

- 1 仕事のやりがい
- 2 自分の能力や適性に合っている
- 3 給料の高さ
- 4 安定した雇用
- 5 柔軟な働き方ができる
- 6 希望する場所で働ける
- 7 将来性
- 8 技術力の高さ
- 9 知名度
- 10 経営陣の魅力
- 11 その他（)

問5 将来、どの地域で働きたいですか。

- 1 福島県内
- 2 東北（福島県を除く）
- 3 関東
- 4 その他国内
- 5 国外
- 6 まだ決めていない

<問5で「1」を選択した方に伺います>

問6 将来、県内のどの地域で働きたいですか。

- | | | |
|------|-------|------------|
| 1 県北 | 4 会津 | 7 いわき |
| 2 県中 | 5 南会津 | 8 地域区分不明 |
| 3 県南 | 6 相双 | 9 まだ決めていない |

県内の地域区分がわからない場合は「8」を選択し、自由記述欄に市町村名を記入してください。

()

問7 問5の回答理由を教えてください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 希望する企業がある | 5 通勤に便利 |
| 2 希望する業種がある（多い） | 6 家族の意向 |
| 3 希望する給与水準にある | 7 福島の復興・発展に貢献したい |
| 4 希望する場所に住みたい | 8 その他（ ） |

問8 あなたは、これからも福島県に住みたいと思いますか。

- 1 ずっと住みたい
- 2 一度は県外に出ても、福島に戻って住みたい
- 3 住みたくない
- 4 分からない

<問8で「1」又は「2」を選択した方に伺います>

問9 問8の回答理由を教えてください。あてはまるものを3つまで選択してください。

- 1 両親や祖父母の近くで生活したい
- 2 家族の意向
- 3 地元の生活に慣れている
- 4 地元友人、知人が多い
- 5 希望する働き場がある
- 6 ゆとりのある暮らしができる
- 7 自然環境に恵まれている
- 8 食べ物がおいしい
- 9 地元で貢献したい
- 10 特に理由はないが、福島県が好きだから
- 11 その他（ ）

<問8で「3」を選択した方に伺います>

問10 問8の回答理由を教えてください。あてはまるものを3つまで選択してください。

- 1 他に住んでみたい地域がある
- 2 都会の方が便利そう
- 3 福島県に友人、知人が少ない
- 4 希望する働き場がない
- 5 交通が不便
- 6 県外出身者であり、地元に戻りたい
- 7 特に理由はないが、福島県以外で暮らしたい
- 8 その他（ ）

問 14 あなたは、福島県の復興に何らかの形で関わっていきたいと思いますか。

- 1 そう思う
- 2 どちらかと言えば「そう思う」
- 3 どちらとも言えない
- 4 どちらかと言えば「そう思わない」
- 5 そう思わない
- 6 分からない（【首都圏】のみの選択肢）

問 15 これから、福島県がどのような県になってほしいと思いますか。あてはまるものを3つまで選択してください。

- 1 豊かな自然環境が守られている
- 2 快適な生活環境の中で暮らせる
- 3 交通が便利で、どこにでも気軽に出かけられる
- 4 産業が盛んで、働く場に恵まれている
- 5 福祉や医療サービスが充実し、お年寄りや障害のある人が大切にされている
- 6 災害や犯罪が少なく、安心して暮らせる
- 7 教育環境が整い、子どもたちを伸び伸び育てることができる
- 8 祭りや伝統芸能などの地域文化が守られている
- 9 買物が便利で、まちに活気がある
- 10 若者が多く、遊ぶところがたくさんある
- 11 自分の能力を十分発揮することができる
- 12 その他（ ）
- 13 分からない（【首都圏】のみの選択肢）

問 16 福島県のこれからについて、あなたが思っていることを自由にお書きください。